



2024年4月1日

持続可能な航空燃料に関する国際環境認証及び 新規原料開発に関するオープンプラットフォーム

概要及び活動内容

国立大学法人 東京農工大学



持続可能な航空燃料に関する国際環境認証及び新規原料開発に関するオープンプラットフォームの概要

名称：

「持続可能な航空燃料(SAF; Sustainable aviation fuel)に関する国際環境認証及び新規原料開発に関するオープンプラットフォーム」

概要：

2050年カーボンニュートラルに向けて航空の脱炭素化への取組は不可欠である。また、国際競争力の維持・強化、航空ネットワークの維持・発展、地域連携・レジリエンス強化のためにも脱炭素化の推進が重要である。SAF原料の多角化と多国化、サプライチェーンの構築及びCORSIA認証の取得等のために、①**国際環境認証の取得のための課題整理**、及び②**SAF原料の安定供給及び抽出・精製過程の高効率化に向けた新技術開発**が急務である。

このため、本オープンプラットフォームにおいては、①国際環境認証（LCA・持続可能性・土地利用変化の評価）、②SAF原料の安定供給技術及び高効率な抽出・精製技術に関わる調査研究等を実施する。

担当教員：

田中 剛 大学院工学研究院・教授、銭 衛華 大学院工学研究院・教授、岡崎 伸 大学院農学研究院・教授、伴 琢也 大学院農学研究院・准教授、杉原 創 大学院農学研究院・准教授、村田 智志 グローバルイノベーション研究院・特任助教 等

期間：

令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間（以降、2又は3年単位で延長を想定）

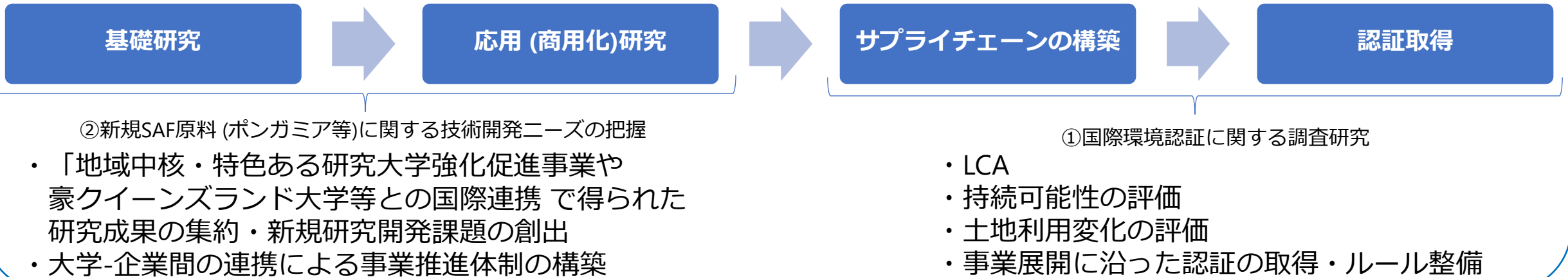
活動内容及び問い合わせ先

主な活動内容

本オープンプラットフォームでは、バイオマス由来SAFの社会実装に向けて、基礎研究から応用研究、認証取得までの包括的なプロセスにおける調査研究及び情報の集約を担う。主な活動内容として当面は以下の2項目を対象にする。

- ①国際環境認証（LCA・持続可能性・土地利用変化の評価）に関する調査研究
- ②新規SAF原料（ポンガミア等）に関する技術開発ニーズの把握

新規SAF原料の社会実装の流れ



活動内容に関するお問い合わせ先

東京農工大学 グローバリイノベーション研究院 特任助教 村田智志
(Email: [s-murata\(ここにアットマーク\)go.tuat.ac.jp](mailto:s-murata(ここにアットマーク)go.tuat.ac.jp), TEL: 042-388-7021)